第236号　令和6年（2024年）11月20日

鈴鹿

市議会だより

■主な内容

９月定例議会の概要 …… 2
各委員会での主な議案審査状況 …… 2
議決一覧 …… 9
一般質問 …… 11
常任委員会視察報告 …… 14
議会報告会開催のお知らせ …… 16

2年ぶりに子ども議会を開催

８月21日、本会議場で子ども議会が開催されました。子ども議員の皆さんからは、交通安全、公共交通、環境、多文化共生、子育てなど、鈴鹿市をより住みやすいまちにしようとするたくさんの質問・提案が投げかけられました。

市議会の詳しい情報は鈴鹿市議会のウェブサイトをご覧ください

鈴鹿市議会　検索　https://www.city.suzuka.lg.jp/gikai/

■発行/鈴鹿市議会 ■編集/鈴鹿市議会だより編集会議 三重県鈴鹿市神戸一丁目18番18号 TEL:059-382-7600 E-mail:giji@city.suzuka.lg.jp

９月定例議会の概要

令和６年度一般会計補正予算（第２号）や 令和５年度一般会計決算を中心に 25議案を可決・認定・同意

９月定例議会を、８月27日から９月26日までの31日間の期間で開催しました。

まず、初日の８月27日には、市長から「令和６年度鈴鹿市一般会計補正予算（第２号）」など17件の議案が提出され、提案説明が行われました。

９月４日には、提出議案に対する質疑に引き続き、４日、５日、６日、９日に16名の議員が一般質問を行いました。

９日には、議案17件及び「自動車関係諸税などの見直しに関する意見書の提出を求める請願書」など５件の請願を各委員会に付託し、９日、12日、13日、20日に、各委員会で付託議案の審査などを行いました。

最終日の26日には、各委員長から付託議案について審査結果の報告があり、４名の議員が討論を行った後、採決の結果、議案17件はいずれも可決または認定しました。

次に、請願４件について各委員長から審査結果の報告があり、１名の議員が討論を行った後、採決の結果、いずれも採択しました。次に、委員会発議案１件の意見書案が提出され、提案説明の後、採決の結果、可決しました。さらに、議員発議案３件の意見書案が提出され、提案説明の後、採決の結果、いずれも可決しました。その後、「鈴鹿市教育委員会委員の任命同意について」など３件の議案が市長から追加提出され、提案説明の後、採決の結果、いずれも同意することに決定しました。その後、地域福祉委員長から「選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書を提出する請願書」の審査期限延期要求があり、２名の議員が討論を行った後、採決した結果、否決されました。

そのため、同請願を改めて委員会で審査した後、その結果が委員長から報告され、４名の議員が討論を行った後、採決の結果、採択されました。

また、議員発議案１件の意見書案が提出され、提案説明の後、採決の結果、可決しました。

最後に、11月24日までを休会とすることを決定し、散会しました。

各委員会での主な議案審査状況

総務委員会

９月13日（午前）　９月13日（午後）

議案第64号　財産の取得について

救急自動車の配備

【概　要】　平成28年３月に配備した救急自動車について、車両および積載している資機材などが老朽化しているため、最新鋭の車両に更新し中央消防署に配備しようとするもの。

質　疑　導入する車両に新しい機能はあるのか。

答　弁　電動ストレッチャー、視認性が非常に高い大型散光式警光灯、緊急車両存在通知機能が新規の機能である。

質　疑　平成28年に購入した車両はどうするのか。予備として使用できないのか。

答　弁　当該車両は平成28年に導入した一番古い車両であり、18万キロメートル以上走行し、故障履歴も多くあるため廃車処分にする。この他に予備車両１台を保有している。

地域福祉委員会

9月13日（午前）　9月13日（午後）　9月26日

請願第７号　選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書を提出する請願書

【概　要】　９月13日、紹介議員・請願者などから説明を求め審議した結果、委員会では、制度について理解を深める必要性から、審査期限を延期することを決定しました。これを受け９月26日、本会議で審査期限の延期について、２名の議員がそれぞれ賛成、反対の立場から討論を行い、採決の結果、審査期限の延期は否決されました。そのため、再度、地域福祉委員会を開催し審議した結果、採択すべきものと決しました。その後、再開された本会議では、４人の議員がそれぞれ賛成、反対の立場から討論を行い、採決の結果、同請願は賛成多数で採択されました。

主な意見
- ○28年間止まっている議論を進め、通称制度のさまざまな弊害から救済することが必要。
- ○アイデンティティの問題もあり、制度の法制化は重要。
- ○市議会で十分な議論をしていない中、法制化の議論を国へ求めるのは時期尚早。
- ○夫婦同姓は家族の一体感や深い絆を築くことができる日本社会に定着した制度であるため、まずは通称制度の拡充を進めるべきではないか。

予算決算委員会

予算・決算の審査は、総務・文教環境・地域福祉・産業建設の各分科会に分かれ、詳細な審査を行いました。その後、予算決算委員会の全体会においては、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

総務分科会

9月13日（午前）　9月13日（午後）

議案第59号　令和６年度鈴鹿市一般会計補正予算（第２号）

不当要求などの対応への指導・助言を弁護士に依頼

○職員管理費　67万3,000円

【概　要】　不当要求およびハラスメント対応に関する指導・助言、職員研修の企画・実施、法律相談などのため、弁護士を配置するもの。

質　疑　**直接、職員が弁護士に問合わせできるのか。また、突発的な対応は依頼可能か。**

答　弁　職員が市民から受けたカスタマーハラスメントなどは、組織として対応することを前提としている。そのため、所属単位で弁護士に相談をする形を想定している。また、突発的な対応については、業務委託の内容を整理する中で、検討していきたいと考えている。

総務分科会

議案第69号　令和５年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

今後の基金運用の考え方

○令和５年度決算資料　各種基金の状況

質疑　今回の決算から今後の基金運用についてどのように考えているか。

答弁　平成29年度から、財政調整基金を繰り入れずに決算できていたが、今回の決算では繰り入れることとなった。これは令和５年度に特段の事情があったことではなく、歳出の増加に対して、歳入でカバーできなかったことによるもので、こうした状況を踏まえ、総合計画2031前期基本計画の最終年度である、令和９年度末において財政調整基金の残高を標準財政規模の 20%相当を下回らないことを目標に、今後、基金の運用をしていきたいと考えている。

文教環境分科会

９月12日（午前）　９月12日（午後）

議案第59号　令和６年度鈴鹿市一般会計補正予算（第２号）

学校問題解決のための支援体制の充実

○学校支援チーム事業費　53万6,000円

【概要】　国の委託事業である「行政による学校問題解決のための支援体制の構築に向けたモデル事業」の企画提案が採択され、10月から既存の学校支援チーム事業に弁護士との契約、学校問題解決支援委員会の開催回数増設を加え、本事業をさらに充実させていくもの。

質疑　弁護士顧問契約の内容と費用の詳細は。

答弁　顧問契約については、１カ月５万円、６カ月分で30万円を計上しており、いつでも相談を行うことができる体制になっている。個別対応費用については、学校に保護者が申立てなどに来られた際に、必要に応じて弁護士も教育支援課と一緒に同席していただく。１回分30分5,000円、40回分で20万円を計上している。

質疑　弁護士が同席する場合は、どのような状況を想定しているのか。

答弁　基本的には法的な判断を伴う内容の場合であると考えている。通常の相談対応は、既存の学校支援チームの経験豊富な元校長や元警察官が行うが、話が進んでいく中でトラブルに関して法的な根拠を持った対応が必要となり、学校のみで判断しにくいような状況になった場合に、弁護士相談を行うことになってくると考えている。また、保護者などと校長が面談する際などにおいて、そういった法的根拠を持った対応が必要とされる場合には、弁護士と事前に日程調整をした上で、同席依頼をするという形も想定している。

議案第69号　令和５年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

学力向上に向けた取り組み

○学力向上支援事業費　1,250万8,021円

質　疑　この事業の実施状況および成果は。

答　弁　読解力向上ワークシートを活用して、読解力の向上に努めている。また、学力向上支援員が４名おり、学校へ訪問し、教員の指導に当たっている。学力の向上は、本市の重点項目に挙げており、本年度の全国学力・学習状況調査の指標は、小学校が全国平均を上回り、中学校も全国平均に近づいてきている。まだ十分ではないが、少しずつ成果が出てきていると認識している。

不登校児童の支援を充実

○不登校対策推進事業費　1,664万4,815円

質　疑　この事業の実施状況および成果は。

答　弁　現在、小学校10校に不登校児童生徒が通う「校内教育支援センター（ほっとルーム）」を鈴鹿市独自で設置している。これにより、継続的に不登校状態にある子どもたちのうち、おおむね６割から７割は、欠席日数が減り、出席が増えている。中には通常学級に復帰できる子どもたちも出てきている。また、不登校支援については早期対応が重要であるため、初期対応マニュアルを作成し、学校に配布して、学校が不登校や長期欠席になりそうな子どもたちを認知した場合には、連続欠席３日以内に対応するようにしている。

質　疑　予算額と比較して決算額が減額となった理由は。

答　弁　ほっとルームでは、担当者を10名配置しているが、外部から探すのは難しい状況である。そこで、スクールライフサポーターという不登校児童の登校支援を担うパートタイム会計年度任用職員の中で、教員免許を持っている方にほっとルームの対応をお願いしたところ、兼ねていただける方が複数名出てきたことなどにより、不登校対策事業費に計上したほっとルームやスクールライフサポーターの人件費などが未執行になったため。

ほっとルーム

地域福祉分科会

議案第69号　令和５年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

９月13日（午前）　９月13日（午後）

外国籍の子どもの学習を支援

○鈴鹿国際交流協会補助　2,264万2,000円

質疑　学習支援教室の実績は。

答弁　夏休みは７月25日から８月31日まで３カ所で行っており、利用児童数は延べ282名である。冬休みは 12月25日から１月５日まで、12月28日から１月３日までを除いた、５日間行っており、利用児童数は延べ115名である。

質疑　利用者の声は。

答弁　外国籍の保護者の方は、日本の夏休みの宿題にどう関われば良いのかわからない方も多く、夏休みの宿題の仕組みを理解できるというところでも好評である。

つどいの広場事業の業務委託内容

○つどいの広場事業費　4,836万853円

質疑　委託先の事業者が常勤職員を配置した場合と、非常勤職員を配置した場合のどちらでも委託料は同じであるが、今回の金額算定に至った考え方は。

答弁　常勤職員の考え方は、週40時間程度従事する者とされており、１日当たり８時間程度となる。本市のつどいの広場事業の業務委託仕様書では、開所時間を５時間として契約しているため、本市の契約内容では、非常勤職員を配置する場合の事業費を適用している。

発達に心配がある子どもなどへの早期支援を推進

○障害児通所支援事業費　16億9,999万5,119円

質疑　令和５年度の実績と増額理由は。

答弁　令和６年３月末時点で児童発達支援事業の利用者数は409名、放課後等デイサービスについては729名、保育所等訪問支援が54名。増額の大きな理由としては利用者数の増加である。

質疑　障がいがある方が増えてきているため増額しているのか。

答弁　子どもたちの発達について、早期発見、早期療育を進める中で、５歳児健診や訪問などを行い、発達に心配がある子どもたちをできるだけ早く療育につなげていくという取り組みをしている結果、利用が増えたと認識している。

産業建設分科会

議案第69号　令和５年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

９月12日

コロナ禍における燃油価格高騰対策事業費分が減額

○特産物振興費　261万8,719円

質　疑　前年度と比較して減額となった理由は。

答　弁　令和４年度は、施設園芸・茶業に係る燃油価格高騰により、厳しい経営環境にある農家を支援するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、燃油価格高騰緊急対策事業費補助金を支出した。令和５年度は、その新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金がなくなったため、支出額が減額となった。

林業経営に適した森林に向けた管理を推進

○森林経営管理事業費　1,271万9,452円

質　疑　前年度と比較して増額となった理由は。

答　弁　令和４年度当初計画より森林経営管理事業が進み、大久保町の経営管理集積計画策定および間伐を実施した。また、次年度以降の準備として、森林地番図について小岐須町と庄内地区を追加作成したことなどにより、令和５年度の事業費が900万円ほど増額となった。

本市のふるさと納税の成果

○すずか応援寄附金推進費　２億3,630万6,221円

質　疑　前年度と比較して増額となった理由は。

答　弁　ふるさと納税については、寄附に対する返礼品の費用を含む中間管理事業者への委託料などの経費が必要となる。令和５年度は、寄附額が令和４年度と比較して、約１億9,000万円の増額になり、Ｆ１日本グランプリプレミアムチケットや新規返礼品の開拓が成果に繋がった。こうした結果、寄附額が前年比の約1.6倍に増額となったことから、経費についても約7,800万円の増額となった。

ふるさと納税 市外でのＰＲの様子

討論（要旨）

討論は議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。

＜議案第59号～議案第75号について＞

市民の声　市川　哲夫 議員

議案第60号に反対

合川・天名・郡山の３小学校の統合に賛同していない地域住民の方は多く、準備委員会は議論の最中であり、統廃合を急ぐ必要はないため、鈴鹿市立小学校及び中学校設置条例の一部改正については反対する。

自由民主党鈴鹿市議団　宮木　健 議員

全議案に賛成

議案第59号の学校給食費１億1,269万5,000円について、食材費高騰により対応が遅れたことは問題である。受益者負担分に対して市税での補正であることを周知し、今後の対応をしっかり行っていくことと意見する。

諸派（日本共産党）　石田　秀三 議員

議案第60号・議案第63号・議案第66号・議案第69号に反対、その他議案は賛成

３小学校の統廃合について、地域住民の中で反対の声も多くあり、さらに議論する必要がある。小規模校は良くないのか、学校がなくなった地域は良くなるのか、立ち止まって考えるべきである。

市民の声　中西　大輔 議員

全議案に賛成

補正予算の給食食材費補助について、市の見込みの甘さ、市内の子ども全員を対象に考えていないなどの課題があることを指摘し、賛成する。議案第60号について賛成するが、市は早期に天栄中学校区の義務教育学校の具体案を提示すべき。

＜請願第４号～請願第５号について＞

無所属　矢田　真佐美 議員

請願第４号～請願第５号に賛成

学校は子どもたちにとって勉学の場以上に社会性を身につける大切な場であり、教師は保護者に次いで子どもに影響を与える存在である。教職員の給与を含む教育環境の一層の充実を図るため賛成する。

＜請願の審査期限の延期について＞

諸派（公明党）　船間　涼子 議員

請願の審査期限の延期に反対

市民の声　中西　大輔 議員

請願の審査期限の延期に賛成

＜請願第７号について＞

自由民主党鈴鹿市議団　太田　龍三 議員

請願第７号に反対

同一の氏を称することにより、家族という一つの集団を構成する一員であることを個々人は実感することができる。家族という社会の構成要素を一つの呼称で呼ぶことには意義があると考える。

無所属　矢田　真佐美 議員

請願第７号に反対

結婚を機に改姓することは、女性側とは限らずお互いに話し合って決めている時代の変化も考慮し、市議会でその背景や根拠、懸念される影響などもっと時間をかけて熟議されるべきで、今議会での提出には反対。

諸派（公明党）　船間　涼子 議員

請願第７号に賛成

夫婦が望めば結婚前の姓を選べる「選択的夫婦別姓」について、国は、懸念に対応しながら議論を進める必要があることを認識するとともに、まずは、約30年棚上げされた議論の再開を求めて、請願に賛成する。

市民の声　中西　大輔 議員

請願第７号に反対

請願者の意図は尊重するが、審査延長に賛成の際に指摘した、世論調査結果の法務省公開資料による議論、事実婚増加と少子化の関係の出典確認などがなかったこと、鈴鹿市議会として議論の不足から反対。

議決一覧（９月定例議会）

【○：賛成　×：反対】

議案など		新緑風会(8)	鈴鹿市議団 自由民主党(7)	市民の声(5)	諸(公明党)派(2)	諸(鈴和)派(2)	諸(日本共産党)派(2)	無所属(1)	議決結果
議案第59号	令和６年度鈴鹿市一般会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第60号	鈴鹿市立小学校及び中学校設置条例の一部改正について	○	○	※2	○	○	×	○	〃 ※1
議案第61号	鈴鹿市福祉医療費等の助成に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第62号	鈴鹿市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第63号	鈴鹿市国民健康保険条例の一部改正について	○	○	※3	○	○	×	○	〃
議案第64号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第65号	字の区域の変更について	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第66号	三重県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	○	○	※3	○	○	×	○	〃
議案第67号	市道の認定について	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第68号	市道の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第69号	令和５年度鈴鹿市一般会計決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	認定
議案第70号	令和５年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第71号	令和５年度鈴鹿市土地取得事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第72号	令和５年度鈴鹿市介護保険事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第73号	令和５年度鈴鹿市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	〃

（次ページに続く）

※１　議長は原則として採決に加わりませんが、例外として、議案第60号は、地方自治法第244条の２第２項と、議会の議決に付すべき公の施設の廃止又は長期かつ独占的利用に関する条例第３条の規定により、出席議員の３分の２以上の同意を必要とすると定められている事項であるため、議長も採決に加わりました（議長賛成）。

※２　中西大輔議員、市川昇議員、藤井栄治議員は賛成、市川哲夫議員、薮田啓介議員は反対。

※３　中西大輔議員、市川哲夫議員、市川昇議員、藤井栄治議員は賛成、薮田啓介議員は反対。

（前ページから続く）

議案など ＼ 会派名（　）は所属議員数		新緑風会（8）	鈴鹿市議団 自由民主党（7）	市民の声（5）	諸（公明党）派（2）	諸（鈴和）派（2）	諸（日本共産党）派（2）	無所属（1）	議決結果
議案第74号	令和５年度鈴鹿市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決認定
議案第75号	令和５年度鈴鹿市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第76号	鈴鹿市教育委員会委員の任命同意について	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第77号	鈴鹿市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第78号	人権擁護委員候補者の推薦同意について	○	○	○	○	○	○	○	〃

委員会発議案第３号	自動車関係諸税などの見直しに関する意見書	○	○	○	○	※4	○	○	原案可決

※ 可決した１件の意見書は、国会および国の関係省庁に提出しました。

議員発議案第２号	教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書	○	○	○	○	※4	○	○	原案可決
議員発議案第３号	義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書	○	○	○	○	※4	○	○	〃
議員発議案第４号	ガザ地区における人道状況の改善と即時停戦の実現を求める意見書	○	※5	○	○	※4	○	○	〃
議員発議案第５号	選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書	○	※6	※7	○	※4	○	×	〃

※ 可決した４件の意見書は、国会および国の関係省庁に提出しました。

請願第３号	自動車関係諸税などの見直しに関する意見書の提出を求める請願書	○	○	○	○	※4	○	○	採択
請願第４号	教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書	○	○	○	○	※4	○	○	〃
請願第５号	義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願書	○	○	○	○	※4	○	○	〃
請願第６号	「ガザ地区における人道状況の改善と即時停戦の実現を求める意見書」の提出を求める請願書	○	※5	○	○	※4	○	○	〃
請願第７号	選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書を提出する請願書	○	※8	※7	○	※4	○	×	〃

議長は原則として採決に加わりません。

※４　田中通議員は賛成、南条雄士議員は反対。
※５　宮木健議員、野間芳実議員、森喜代造議員、太田龍三議員、田中淳一議員、桐生常朗議員は賛成、森雅之議員は反対。
※６　森雅之議員は賛成、宮木健議員、野間芳実議員、森喜代造議員、太田龍三議員、田中淳一議員、桐生常朗議員は反対。
※７　薮田啓介議員は賛成、中西大輔議員、市川哲夫議員、市川昇議員、藤井栄治議員は反対。
※８　森喜代造議員、森雅之議員は賛成、宮木健議員、野間芳実議員、太田龍三議員、田中淳一議員、桐生常朗議員は反対。

会派等構成員一覧

新緑風会	◎河尻　浩一　大杉　吉包　水谷　進　山口　善之　山中　智博　曽我　正彦　加藤　公友　松葉谷光由
自由民主党鈴鹿市議団	◎宮木　健　野間　芳実　森　喜代造　森　雅之　太田　龍三　田中　淳一　桐生　常朗
市民の声	◎中西　大輔　市川　哲夫　薮田　啓介　市川　昇　藤井　栄治
諸派（公明党）	◎藤浪　清司　船間　涼子
諸派（鈴和）	◎田中　通　南条　雄士
諸派（日本共産党）	◎石田　秀三　高橋さつき
無所属	矢田真佐美
無所属	池上　茂樹（議長）

◎：会派等代表者

採決時の会派等構成員一覧です。

一般質問（要旨）

一般質問は、定例議会において提案された議案に関係なく、市の一般事務について市の方針をただすものです。

諸派（公明党）　藤浪　清司 議員

防災情報の発信について

（質問）南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）発表に伴い８月８日から一週間、市公式ラインで連日関連情報を発信したが、1,000文字を超える長文で内容の重複も多く、きちんと読まれないことが危惧される。必要な情報を端的に分かりやすく発信すべきではないか。

（答弁）気象庁の南海トラフ地震関連解説情報を市公式ラインなどで自動配信したがＳＮＳで発信するには長い文章であった。迅速性や正確性を基本に分かりやすさに配慮し情報発信に努める。

その他の質問 ○自治会と民生児童委員の負担軽減

自由民主党鈴鹿市議団　宮木　健 議員

公共工事入札について

（質問）１社応札や入札不調などが起こっている。市内業者が応札しやすい取り組みや、総合評価方式に市内業者を下請けに入れることで加点されるなど見直しを図り、公共事業が適正かつ、活性化をもたらす方法について問う。

（答弁）総合評価方式の見直しを進めるに当たり、市内業者の施工割合を高める取り組みや若手労働者雇用を推進し、自社施工率を高める取り組みなど、評価項目を検討する。建設業界の活性化を念頭において、さまざまな対応に取り組む。

その他の質問 ○幹線道路網

新緑風会　加藤　公友 議員

安心して働き、出産・子育てできる環境に向けて

（質問）本市と市内企業が連携することで、子育て世代の仕事と育児の両立がさらに進むと考えているが、本市の市内企業との連携の考え方を問う。

（答弁）子育て支援は、行政や保護者、地域などのほか、市内企業がそれぞれの役割を果たし連携することで、より丁寧な支援が可能になると考えている。企業との連携では、新たに企業型『転入ママのつどい』の実施に向けて調整していきたい。

その他の質問 ○多様な子どもたちに対応できる教員育成

市民の声　藤井　栄治 議員

生徒・児童の心の健康へのサポートについて

（質問）児童生徒の心の小さなＳＯＳなどを教職員が察知するため、児童生徒のタブレット端末で利用できる「心の健康状態アプリ」が全国で導入されているが、本市の取り組みを聞く。

（答弁）端末導入時に一部の小中学校で「心の天気」アプリに実証的に取り組んだ。今後は、国の研究機関と連携し「児童・思春期におけるオンラインメンタルヘルスケアシステム」（ココロボ・ジュニア）のＡＩを活用した検証研究へ本市の中学校の参加を検討する。

その他の質問 ○学校における働き方改革

市民の声　中西　大輔 議員

放課後の子どもの居場所について

（質問）①第３期子ども子育て支援事業計画第５章を見直す考え、②子どもの放課後の居場所に特化した検討体制設置の考えについて問う。また、③全ての子どもを対象にする校内交流型の拡大の考えと放課後の居場所を考える体制について、市長はどう考えるのか。

（答弁）①計画第５章についてタイトルの見直しは検討する。②放課後の居場所について特化した検討体制は設置しない。③校内交流型ではなく学童保育を増やす。放課後の居場所については、現在の体制で検討する。

その他の質問 ○地域福祉に関して

新緑風会　山中　智博 議員

外国人材の受け入れについて

（質問）技能実習に代わる「育成就労」制度が、2027年までに施行されることが決まった。人手不足への対策や、外国人労働者への法や規範などの一定の知識を伝える講習の制度化について、考えを問う。

（答弁）本市の将来を担う人材として、外国人労働者には長く住み続けてもらいたい。「鈴鹿deはたらこっ！プロジェクト」において、外国人材の確保を進めていく。その一方で、社会に分断が生じないよう、鈴鹿国際交流協会を拠点に、共生社会を担う人材育成にも積極的に取り組んでいく。

新緑風会　山口　善之 議員

高齢者の見守りについて

（質問）高齢化が進む本市では一人暮らし高齢者の割合も増加傾向にある。孤独死が社会問題となり地域の方や民生委員が安否確認をしているが、頻繁な訪問は現実的でない。電気・水道・ガスなどのスマートメーターの使用量で安否確認できるデジタル技術を導入してはどうか。

（答弁）安否確認の担い手不足の課題解消と健康寿命の延伸につながり、介護保険や健康保険などの社会保障費の抑制効果も期待できるため効果的な手法について調査研究を行う。

その他の質問 ○障害者就労事業所（Ａ型）の現状

諸派（日本共産党）　高橋　さつき 議員

医療を受ける権利を守ることについて

（質問）保険証の廃止とマイナ保険証への一本化は事実上強制で、医療機関を含め高齢者や障がい者などの社会的弱者を切り捨てる制度である。12月２日以降も現行保険証は有効期限まで使用可能なこと、マイナ保険証を持っていない人への資格確認書の交付、マイナ保険証の登録解除可能などの周知徹底を。医療を受ける権利を守るため、全被保険者への資格確認書発行と、現行保険証存続の国への要望を求める。

（答弁）全被保険者への資格確認書交付は想定していない。引き続き制度変更にかかる丁寧な周知に取り組む。

諸派（日本共産党）　石田　秀三 議員

上下水道のウォーターＰＰＰについて

（質問）下水道の管理にＰＰＰという官民連携の手法は必要か。国交省は将来、事業運営権も民間に移行させようと補助金で誘導しているが、この手法で市としての主体性が保たれるか。また、市民の暮らしに直結した水道事業は、市直営で行うことが必須である。

（答弁）下水道事業は、令和９年度以降、国の交付金要件にウォーターＰＰＰの導入が加えられたため、本年度、導入可能性調査を行う。水道事業は、安全・安心な水道水の供給を第一に、慎重に対応していく。

その他の質問 ○水田農業の現状

新緑風会　大杉　吉包 議員

本市の農業について

（質問）①本市の農業の実態について問う。②本市の農業に対する今後の取り組みについて問う。

（答弁）①販売農家数は10年間で1,197戸減少、経営耕地面積は10年間で640ヘクタール減少している。②本市において農業は重要な基幹産業であると認識している。本市の農業が衰退していくことのないよう、また、安定した農業収入やスマート農業化による作業量の標準化など環境を整え、若者が意欲的に農業に取り組めるよう、国、県などと連携を密にし、農業者の支援に努めていきたい。

新緑風会　水谷　進 議員

中学校における部活動の地域移行について

（質問）部活動の地域移行の考え方とは。

（答弁）少子化が進展する中で学校単位でチームを編成できず大会に参加できなくなることや、学校規模の縮小による教職員定数の減少に伴い、専門的な技術指導ができる教員を配置できない現状がある。また教員の休日の部活動指導による長時間労働は看過できない状況である。こうした状況を課題と捉え、生徒が将来にわたりスポーツや文化芸術活動に継続して親しむ機会の確保と教員の働き方改革を一体的に推進することを目指している。

その他の質問 ○ふるさと納税

無所属　矢田　真佐美 議員

途切れのない家庭支援について

（質問）①女性の相談窓口の現状と市の対応について、②夜間や休日の一時預かりについて、③災害時における妊婦や乳児を持つ子育て家庭への支援について伺う。

（答弁）①年間約500件の相談を受けており、夫婦間の問題が約半数。②子育て支援ショートステイ事業や児童相談所による一時保護など、家庭に応じた対応を実施。③妊娠期から継続して子育て家庭との接点を持ち、きめ細やかなケアと迅速な対応を日ごろから心掛けている。

その他の質問 ○子宮頸がんワクチン

諸派（公明党）　船間　涼子 議員

社会的孤立問題について

（質問）孤独・孤立は、誰にでも起こり得る。誰も孤立させない、ひとりぼっちをつくらせないために、実態の把握や対応、支援策が重要である。本市の現状について尋ねる。

（答弁）安心して相談や支援を求められるよう、窓口や支援内容などを分かりやすく発信する。くらしサポートセンターを開設し、就労準備支援事業など、相談支援員が個々に継続的に寄り添った支援を実施する。悩む人に気づき支えるメンタルパートナーの養成講座を産業分野の関係機関と連携し、職域にも機会を拡大できるよう取り組む。

諸派（鈴和）　田中　通 議員

南海トラフ地震臨時情報発表に伴う対応について

（質問）提供開始５年にして初めて発表された南海トラフ地震臨時情報に、本市はいかに対応したのか。また今後に向けた展開は。

（答弁）８月８日16時43分頃の日向灘を震源とする地震発生を受け、災害対策本部を設置し、17時45分には第１回災害対策本部会議を開催。８月15日17時に災害対策本部を廃止した。今回は適切に対応できたが長期的対応が必要な場合も想定し検証を進めており、必要に応じて地域防災計画やマニュアルなどを改正する。

その他の質問 ○鈴鹿の郷土教育○鈴鹿市の建設業を取り巻く現状

市民の声　市川　哲夫 議員

天栄中学校区の取り組みについて

（質問）学校再編計画意見募集結果の公文書公開に係る不服審査請求について問う。また、小学校再編計画アンケート実行委員会が実施した小学校再編計画アンケート集約結果についての考えを問う。

（答弁）審査請求については、情報公開審査会からの答申内容を確認の上、適切に対応を行っていく。アンケート結果については、一部再編計画に反対する住民の方の気持ちを再認識した。今後も「天栄中学校区における学校再編計画」に基づき再編の準備を丁寧に進めていきたい。

市民の声　市川　昇 議員

将来を見据えた人口及び税収入の確保について

（質問）本市の人口は減少をし続け、特に若者の人口流出は大きい。そこで①市の人口流出を防ぐ取り組み、②市の税収確保の取り組みおよび状況についてお聞きしたい。

（答弁）①前期基本計画の全基本施策を人口減少抑止策と人口減少社会適応策のいずれかに資する施策として位置付け、人口減少対策に取り組む。②個人市民税は今後減少する見込みだが、多様な納税方法の周知など、納税環境の改善や自主納付の促進の取り組みにより、適正な課税と徴収業務に努める。

その他の質問 ○災害時の避難に関する施策

常任委員会の行政視察報告

各常任委員会では、本年度の所管事務調査事項について先進的な取り組みを実施している自治体への行政視察を行いました。本市の取り組みに生かすため、行政視察で調査した内容を含め、今後さらに協議をし、各常任委員会で意見を取りまとめた上で、市長に提言を行います。

総務委員会　7月24日~26日

○神奈川県大和市、千葉県松戸市「ハラスメントについて」

大和市では、令和３年当時の市長によるハラスメントをきっかけに、市議会に特別委員会を設置し、ハラスメント条例の制定が必要だという方針が示され、委員会提出議案という形で、令和４年12月定例会で議決されました。条例では、議長と議員の責務が記載されていたり、弁護士や臨床心理士等からなる第三者によるハラスメント相談窓口を設置するなど、相談窓口が複数設置されています。

松戸市では、職場におけるハラスメントの防止に関する要綱を制定し、併せて職員の知識を深めることを目的にハラスメント防止ハンドブックを作成しています。また、今年度、ハラスメント防止対策の参考にするため、アンケートを職員向けに実施する予定とのことです。

神奈川県大和市

○その他の視察先と視察目的

東京都板橋区「行政評価について」、東京都新宿区「行政評価について」

文教環境委員会　7月24日~26日

○宮城県仙台市「特別支援教育について、LD・ADHD等通級指導教室について」

仙台市では、特別支援教育に関する研修の充実、通常の学級における発達障害児などへの対応についての指導助言、通級指導教室担当者研修を充実するなど、通常の学級･特別支援学級･通級指導教室の教育力向上と教員の指導力の向上を図っています。通級指導教室を通して、社会で自立して生きていく力、誰かに相談して解決できる力などを身に付けることができ、生徒や保護者にとっても、安心できる場所となっています。

特別支援教育には、学校長のリーダーシップ、教員の資質の向上が重要であり、本市においても、さらなる取り組みが必要であると感じました。

宮城県仙台市

○その他の視察先と視察目的

愛知県清須市「五条川斎苑について」
宮城県名取市「義務教育学校名取市立閖上小中学校について」
栃木県宇都宮市「文化振興の取組について」

地域福祉委員会　7月24日~26日

○福島県福島市「保育士の支援制度について」

福島市では、現職保育士への支援として、働きやすい職場づくりをテーマとした他施設との意見交換会や、保育士の定着、離職防止を目的とした保育士相談窓口の設置を行っています。また、宿舎を借り上げる私立保育施設に対し、宿舎の借り上げに要した経費の一部を補助したり、保育士業務をサポートする支援員を雇用する私立保育施設に対し、費用の一部を補助したりするなど補助金も充実しています。さらに、県外から福島市へ移住し、保育士・幼稚園教諭になった方に対しては、ＵＩＪターン保育士等就労支援事業として就労支援金を交付しています。

本市においても、さまざまな観点から、保育士に寄り添った支援を行うため調査研究をしていく必要があると感じました。

福島県福島市

○その他の視察先と視察目的

東京都日野市「認知症への取組について」
千葉県習志野市「市立幼稚園、保育所の私立化の計画について」
「保育士の支援制度について」

産業建設委員会　7月29日~31日

○愛知県豊明市「オンデマンド型乗合交通について」

豊明市が進める「オンデマンド型乗合交通（※）」は、交通空白地域を中心に、鉄道やバスといった他の公共交通を補完することで地域の交通不便を解消することや高齢者の外出促進に貢献することを目的とし、事前に会員登録された利用者からの乗車予約に応じて、最適な利用者の乗り合わせと経路を計算し、それぞれの目的地まで乗り合いで送迎する交通システムです。

また、運行に際しては、エリアスポンサーから協賛をいただき、エリアスポンサーには、オンデマンド型乗合交通の停留所の設置やスポンサーボードに掲載するなど、持続可能な公共交通に向けた取り組みを進めており、本市においても、参考になる点は多くありました。

※オンデマンド型交通：予約に応じて乗降場所や経路を変更可能な交通システム

愛知県豊明市

○その他の視察先と視察目的

神奈川県秦野市　「ドローンを活用した鳥獣対策について」
東京都武蔵野市　「公共施設マネジメントの取り組みについて」
東京都世田谷区　「オンデマンドバスについて」

議会を傍聴しませんか

議会にお越しください

●傍聴の手続き方法

本会議や委員会などの傍聴をするときは、市役所本館14階の議会事務局で傍聴券を受け取ってから入室してください。本会議の傍聴受け付けは先着順です。本会議以外の傍聴受け付けは、開会30分前から開始し、同10分前に締め切ります（締め切り時点で傍聴希望者が定員を超えた場合は、抽選により決定します。）。

なお、会議の開催予定は、市議会ウェブサイトや市役所掲示板などでお知らせします。

議会報告会を開催します

市民の皆さんとのワークショップ形式での意見交換会を中心にした議会報告会を開催します。

- **●対　象**　大学生を中心とした若者世代
- **●と　き**　令和７年２月２日（日）13時30分から
- **●ところ**　鈴鹿医療科学大学白子キャンパス１号館
- **●テーマ**　「鈴鹿市の現在と未来について語ろう ～住みやすいまち・住み続けたいまちとは～」

※開催内容や応募方法などの詳細は、12月中旬ごろに鈴鹿市議会ウェブサイトや広報すずかなどでお知らせします。

議会に来られなくても…

●本会議をライブ中継しています

本会議の様子をケーブルテレビ（CNS・112ch）とYouTubeでライブ中継しています。放送時間は午前10時（開会時間）から会議の終了までです。

●委員会などをライブ中継しています

委員会などの様子をYouTubeでライブ中継しています。ライブ中継の対象会議は、常任委員会・特別委員会・全員協議会です。

●録画映像も配信しています

ライブ中継した本会議や委員会などの録画映像をYouTubeで配信しています。

※録画映像のアップロードには数日を要します。

●会議録でもっと詳しく

会議内容の詳細は、会議録をご覧ください。会議録は、市役所本館14階の議会図書室と４階の情報公開コーナーで閲覧ができます。また、市議会ウェブサイトでも公開しています。

※9月定例議会の会議録は、11月下旬に配置予定です。

YouTubeは市議会ウェブサイトからご覧いただけます。

11・12月の会議日程

（注）日程は変更になる場合があります。

11月	25日	月	10:00	**本会議（提案説明）**
	26日	火	14:00	議会運営委員会
12月	３日	火	10:00	**本会議（質疑・一般質問）**
	４日	水	10:00	**本会議（一般質問）**
	５日	木	10:00	**本会議（一般質問）**
	９日	月	10:00	**本会議（一般質問）**
				議会運営委員会（本会議終了後）
				各派代表者会議（議会運営委員会終了後）
	10日	火	10:00	**本会議（一般質問・追加議案等・委員会付託）**
				予算決算委員会（本会議終了後）
	11日	水	10:00	文教環境委員会（分科会）
				産業建設委員会（分科会）

12月	12日	木	10:00	総務委員会（分科会）
				地域福祉委員会（分科会）
	13日	金	10:00	常任委員会予備日※
	16日	月	10:00	常任委員会予備日※
	17日	火	10:00	予算決算委員会
				各派代表者会議（予算決算委員会終了後）
				広報広聴会議（各派代表者会議終了後）
	19日	木	10:00	議会運営委員会
	20日	金	10:00	**本会議（委員長報告・討論・採決）**
				全員協議会（本会議終了後）
				議会だより編集会議（全員協議会終了後）

※常任委員会の進行状況により、開催しない場合があります。

皆さまのご意見などをお聴かせください

市議会や市議会だよりに対する皆さまのご意見・ご提案・ご要望をお聴かせください。今後の議会運営の参考にさせていただきます。

宛先は

鈴鹿市議会事務局

〒513-8701　鈴鹿市神戸一丁目18番18号
TEL：059-382-7600　FAX：059-382-4876
E-mail：giji@city.suzuka.lg.jp